

八千代医療センターの各診療科のご案内

必修診療科 小児科 2か月

2020. 2. 1. 現在

小児科の研修アピールポイント；

“こどものすべてを診る”をモットーに診療しています。

内科的疾患のみでなく外傷・熱傷・外科疾患の first touch を小児科上級医と共に行い、小児内科でなく小児の総合診療を指導します。入院患者さんはチーム（3-4名）の一員として診療します。2か月の研修期間のうち、2週間は小児科外来（一般外来研修とダブルカウント）で研修します。

総合周産期母子医療センター（NICU、千葉県3か所）、小児救命救急センター（PICU、千葉県唯一）を併設し、選択研修可能です。

医師数 32名

指導医数 19名

専門医数 21名

後期研修医 7名



2019年度

入院数（/年）小児科 2,200例、小児外科 440例、

新生児科 220例

救急患者数（/年間）；10535例（うちトリアージレベル；蘇生区分 128例、緊急区分 1538例）

救急車台数（/年間）；1,402件

研修医の受け持ち患者数：チーム制で月に30例程度

経験できる代表症例；あらゆる小児疾患を診療します

急性肺炎、気管支喘息、川崎病、てんかん、急性脳症、ネフローゼ症候群、尿路感染症、虫垂炎、腸重積、交通外傷、家庭内事故、熱傷など

カンファレンス；毎火曜日朝 7:30-8:30；症例検討、抄読会、レクチャー

第3木曜日夕方；八千代救急カンファレンス、ランチョンセミナー；不定期

成育医療センター集中治療科（中川聡先生）、埼玉小児医療センター集中治療科（植田育也先生）との（WEB）勉強会；各約3か月ごと

研修医症例発表会；研修2か月目に経験症例の発表（20-30分程度）

初期研修医の1週間(例)

	月	火	水	木	金
午前	外来	勉強 会	病棟	病棟	病棟
午後	外来	病棟	病棟	ランチョンセミナー(不定期) 病棟	病棟

他、上級医と小児科当直業務(4回/月程度)、休日日直(2回/月程度)

病棟行事(ハロウィン)での一コマ



日本小児科学会 (札幌) 2016年